

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たいよう②

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 令和7年3月1日

回収数 14

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			3		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12		1	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	5	2	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	1	7	参加できないのでなくても大丈夫	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	1		いつも送迎時にありがとうございます	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		3			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4	3	7	あっても参加できない	
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2		2	いつもありがとうございます	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	5		1	遊びたい時でブツブツいうときがある デイジーの方が楽しい たいようかあというときがあるが帰ってくると楽しそう	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2			もちかえる工作のセンスが良くて可愛い 家では出来ないのありがたい どのスタッフも感じが良くて感謝している	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスたいよう2		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		令和7年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		令和7年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ライフスキル習得への取り組み 日常生活動作の自立支援プログラムの充実	社会性やコミュニケーション能力を育むためのグループ活動や、日常生活に必要なスキルを身につけるための活動を取り入れています。	目標達成のための具体的なステップや方法を明確にし、進捗状況を定期的に評価していきます
2	特定の障害やニーズに特化した専門的な療育プログラム	お客様の自己肯定感を育むために、成功体験を積み重ねられるような活動を取り入れたり、個性を尊重し、認め合う雰囲気づくりを心がけています。	子どもたちの多様なニーズに応じて、学習支援、創作活動、地域交流、余暇の提供など、さまざまな活動を組み合わせて提供すること
3	経験豊富なスタッフによる丁寧な支援と、温かく家庭的な雰囲気 子どもたち一人ひとりに寄り添い、丁寧な支援を行うスタッフ	定期的なミーティングや事例検討会を通して、支援の質の向上を図っています	困難場面の対応策を具体的に指導に努めています

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の企画を立てるためのアイデアやノウハウが不足している。	企画・運営の役割が一部のスタッフに集中しており、計画が進みにくい。 保護者にも運営に関わってもらおう仕組みがないため、事業所側の負担が大きい	年間計画を事前に立て、3ヶ月ごとに開催するなど定期的なスケジュールを策定。 事前に告知しやすいように、年間の開催日を定める。
2	放課後等デイサービスにおける家族支援プログラムや情報提供の機会の不足	プログラム実施のための時間、場所、教材などの資源が不足している 日々の支援業務で忙しく、家族支援プログラムや研修会の企画・準備に時間を割けない。	「お茶会」などのリラックスした雰囲気の中で、カジュアルに学べる機会を作る。
3	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子どもの活動機会の不足	放課後児童クラブや児童館との間に、定期的な情報交換や連携のための仕組みがない	定期的な連絡会や情報交換会を開催し、連携体制を構築する。 合同でのイベントや活動を企画し、交流の機会を設ける。 地域の関係機関とのネットワークを構築し、情報共有を密にする。